

●学校法人α Version 4.601

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP 搭載機へのインストールは不可となっています。

《導入・更新》

- ◆ 「新規会社登録・修正・削除」業務起動時に、登録済みの会社選択画面（一覧表示及び選択処理）を表示するように改良しました。新規登録は新規作成 [F12] を選択します。
- ◆ 銀行データ受信（FinTech対応）リリースに伴う対応を行いました。
- ◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“学校法人α（VERSION:4.601）の変更点”を参照してください。

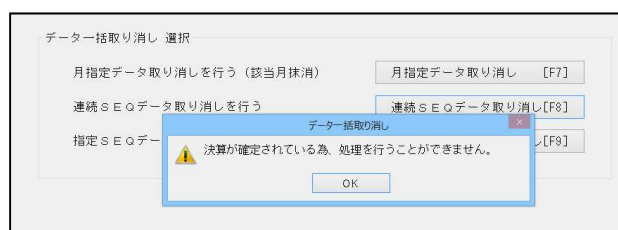
学校法人α (VERSION:4.601) の変更点

改良内容

I. 導入・更新

1) データー一括取り消し

- ・決算未確定の過年度マスターのデーター一括取り消しを可能としました。
- ・決算確定している過年度マスターを選択した場合、下記メッセージを表示し、メニュー画面に戻ります。



II. 登録・入力

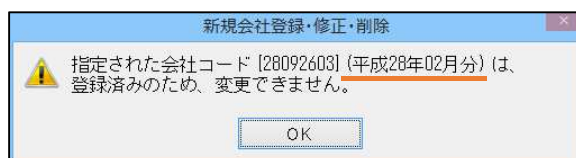
1) 新規会社登録・修正・削除

①会社選択

- ・業務起動時に登録済みのマスター選択画面（一覧表示及び選択処理）を表示するようにしました。
- ・マスター新規登録は新規作成 [F12] を選択します。

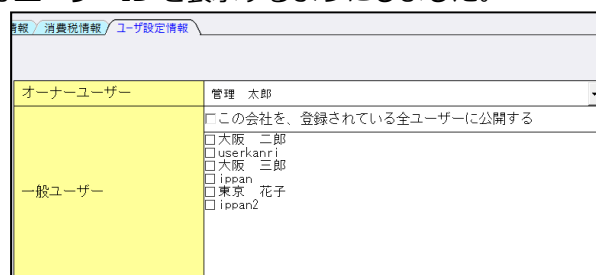
②会社コード変更

- ・過年度マスターの会社コード変更時、変更先の会社コードが既に存在する場合のメッセージ
“指定された会社コード[*****] (16年02月分) は登録済みのため、変更できません。”の
「年」を西暦表示（2桁）から和暦表示（元号+2桁）に変更しました。



③ユーザ設定情報

- ・オーナーユーザー、一般ユーザーの表示方法を変更しました。氏名の入力があれば氏名を表示し、氏名の入力がなければユーザーIDを表示するようにしました。



2) 科目設定・残高登録

①残高登録

- ・部門別の「科目残高登録」「枝番残高登録」で、合計転記の設定に対応しました。
- ・各項目にカーソルを止めると「Home 合計転記」が有効になります。

科目	摘要	枝番名称	カマ	借方金額	貸方金額	
0001	1 1月分	4分		100,000		<合>
0002	2 2月分	5分		200,000		<合>
0003	3 3月分	6分		300,000		<合>
0004	4 4月分	7分		0		<合>
0005	5 5月分	8分		0		<合>
0006	6 6月分	9分		0		<合>
0007	7 7月分	0分		0		<合>

Ⅲ. 出力

1) 試算表（新会計基準のみ）

- ①旧学校会計にあった補助活動収入・補助活動支出の表示形式に対応しました。
 - ・詳細項目の指定に【補助活動収支を明細で出力する】の選択を追加しました。

《対象科目》

資金収支計算書	付随事業・収益事業収入	「補助活動収入」	「補助活動事業収入」
	教育研究経費支出	「補助活動仕入支出」	「補助活動事業支出」
	管理経費 支出	「補助活動仕入支出」	「補助活動事業支出」
事業活動収支計算書	付随事業 収入	「補助活動収入」	「補助活動事業収入」
	教育研究 経費	「補助活動収入原価」	「補助活動事業支出」
	管 理 経 費	「補助活動収入原価」	「補助活動事業支出」

※選択は1つですが、決算書に記載しているものと同等の機能です。

2) 総勘定元帳

- ・部門別の科目残高、枝番残高登録画面での合計転記登録の改良に伴う対応を行いました。

Ⅳ. 決算

1) 決算書／内訳表／予算書／予算内訳表（新会計基準のみ）

- ①発生のない大科目を表示するように対応しました。

【参考】「学校法人会計基準の改正に関する説明会」への質問回答集（平成26年2月）の「Q9・A9」

- ・各業務の[F6]項目登録－共通タブに【発生が無い大科目を出力しない】の選択を追加しました。
 - ※初期設定はチェックOFFにしています。
- ・今回より、大科目は発生が無くても出力することを標準の出力とします。
- ・「資金収支計算書」「事業活動収支計算書」の大科目及び「貸借対照表」の大科目・中科目は発生が無くても出力されます。
- ・「活動区分資金収支計算書」は、様式例に出ている科目（（何）の行を除き）は発生が無くても出力します。
 - ※チェックONのときは、従来通り、発生の無い大科目は出力されません。

※「人件費支出明細表」にこの選択は影響しません。

（[F6]項目登録－人件費支出明細表タブの帳表の形式（行詰めしない⇔行詰めする）で選択できます。）

- ②旧学校会計にあった補助活動収入・補助活動支出の表示形式に対応。

- ・各業務の[F6]項目登録－共通タブに下記の2つの選択を追加しました。

【明細出力時、補助活動収支に合計行を表示する】

《対象科目》

資金収支計算書	付随事業・収益事業収入	「補助活動収入」
	教育研究経費支出	「補助活動仕入支出」
	管理経費 支出	「補助活動仕入支出」
事業活動収支計算書	付随事業 収入	「補助活動収入」
	教育研究 経費	「補助活動収入原価」
	管 理 経 費	「補助活動収入原価」

【明細出力時、補助活動事業収支に合計行を表示する】

《対象科目》

資金収支計算書	付随事業・収益事業収入	「補助活動事業収入」
	教育研究経費支出	「補助活動事業支出」
	管理経費 支出	「補助活動事業支出」
事業活動収支計算書	付随事業 収入	「補助活動事業収入」
	教育研究 経費	「補助活動事業支出」
	管 理 経 費	「補助活動事業支出」

- ・初期設定はチェックOFFにしています。

チェックONで、上記科目の[F7]合計・明細の設定が「明細」のとき、合計行と明細行を表示します。

- ・明細出力時、補助活動収支（補助活動事業収支）に合計行を表示する＝OFF

[F7]合計・明細＝合計 … 従来の合計出力 / [F7]合計・明細＝明細 … 従来の明細出力

- ・明細出力時、補助活動収支（補助活動事業収支）に合計行を表示する＝ON

[F7]合計・明細＝合計 … 従来の合計出力 / [F7]合計・明細＝明細 … 今回の明細出力

※[F7]合計・明細で上記科目の設定が初期値のときは、上記選択のチェックON⇔OFFにより自動的に明細⇔合計が切り替わります。

[F7]合計・明細の設定を手動で変更されているときはそれを優先しますので、自動的に明細⇔合計は切り替わりません。

【例】補助活動収入・補助活動仕入支出に各々4科目ずつ明細科目追加しています。

(チェックOFF/[F7]合計・明細＝合計)

(チェックON/[F7]合計・明細＝明細)

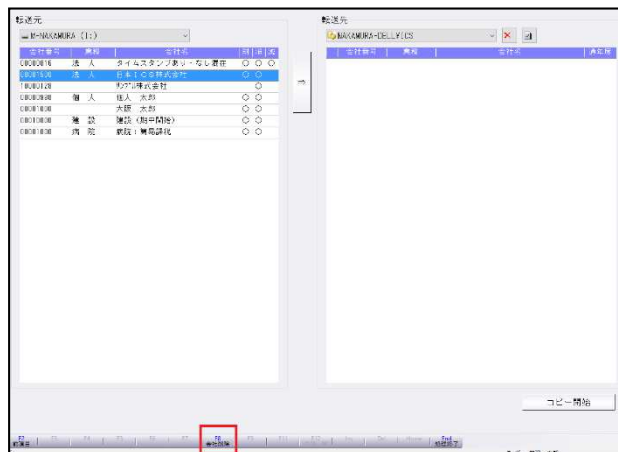
収入の部		
科	目	予 算
付随事業・収益事業収入		(6,250,000)
補助活動収入		6,250,000
前年度繰越支払資金		(3,750,000)
収入の部合計		10,000,000
支出の部		
科	目	予 算
管理経費支出		(6,890,000)
補助活動仕入支出		6,890,000
翌年度繰越支払資金		(3,110,000)
支出の部合計		10,000,000

収入の部		
科	目	予 算
付随事業・収益事業収入		(6,250,000)
補助活動収入		6,250,000
給食費収入		1,561,000
用品代収入		1,562,000
バス維持費収入		1,563,000
課外活動収入		1,564,000
前年度繰越支払資金		(3,750,000)
収入の部合計		10,000,000
支出の部		
科	目	予 算
管理経費支出		(6,890,000)
補助活動仕入支出		6,890,000
給食費支出		1,721,000
用品代支出		1,722,000
バス維持費支出		1,723,000
課外活動支出		1,724,000
翌年度繰越支払資金		(3,110,000)
支出の部合計		10,000,000

V. 通信・移動

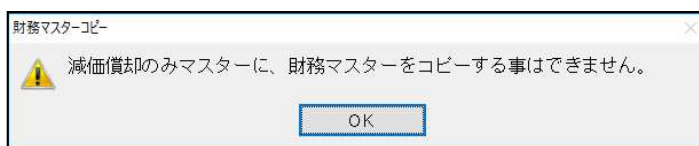
1) 財務マスターコピー

- ①FinTech に対応しました。
- ②メディア内の会社削除に対応しました。
 - ・ U S B等の外部メディアにコピーされているマスターを個別に削除できるように対応しました。
転送元にメディアを選択した場合に「F8 会社削除」が有効になります。
削除したいマスターにカーソルを止めて、「F8 会社削除」を押すことで削除できます。



③その他改良

- ・ メディアを使用して財務 d b と減価償却 d b が共存しているマスターを移動させる際に、先に減価償却 d b をデータベースに転送し、その後財務 d b を転送しようとした時のエラーメッセージを変更しました。



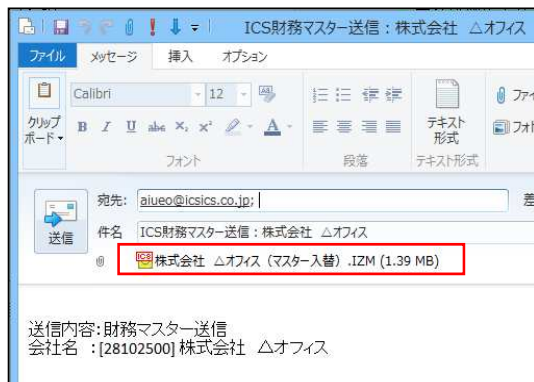
2) 会計事務所へマスター&データ送信・移動

- ①FinTech に対応しました。
- ②メール送信時の添付ファイル名に会社名を反映するようにしました。
 - ・ メール送信時もメディア転送と同様にファイル名に会社名を反映するようにしました。

例) マスター全体入替でメール送信した場合

対応前: MAIL.IZM

対応後: ○○○株式会社 (マスター入替) .IZM



③前回設定情報をマスター単位で保存するようにしました。

- ・ 前回送信時の移動方法・送信先・処理選択・F6 転送種別設定を PC 単位で保存していたのをマスター単位で保存するようにしました。

修正

I. 登録・入力

1) 科目設定・残高登録

- ・枝番コードを変更する際、既に登録済みの枝番コードを入力すると「既に登録されています。」と表示された後、枝番名称が登録済みコードの枝番名称に変更されていたのを修正しました。
- ・複数科目の一括登録で、カナ欄を入力するとアルファベットが入り、エラーで動作停止していたのを修正しました。

II. 通信・移動

1) 財務マスターコピー

- ・過年度マスターをUSBにコピーした後、同じ会社の当年度マスターのみを追加保存を行った場合に、当年度のみをUSBからデータベースにコピーすることができなかったのを修正しました。

以上